

日本経済政策学会第71回（2014年度）全国大会 大会プログラム概要

大会テーマ：『グローバル経済下における日本の成長戦略』

今大会では、経済のグローバル化がより一層進むなかでの日本の成長戦略について考えるため、共通論題として、主として供給面に焦点をあて、TPP・農業について山下一仁先生、産業・イノベーションについて鳥居昭夫先生、労働について三谷直紀先生から、それぞれご講演いただく。その後、共通論題の三つのご講演に対してそれぞれ討論者からコメントをいただき、最後に、松原先生をコーディネーターとして、講演者・討論者によるパネルディスカッションを設ける。パネルディスカッションでは学会員からの質問も受け付ける。また、共通論題に関連する「危機の時代の欧州経済」をテーマとして、Oliver Landmann 先生（ドイツ・フライブルク大学）と Mario Mariniello 先生（ベルギー・シンクタンク・ブリュッセル）をお招きして英語での特別セッションを開催します。

1. 共通論題セッション

上記大会テーマのもと、共通論題セッションを次のように構成する。

講演 1（TPP・農業を中心に）

講演： キャノングローバル戦略研究所・研究主幹 山下一仁先生

討論： 九州大学・助教 外園智史先生

講演 2（産業・イノベーションを中心に）

講演： 中央大学・教授 鳥居昭夫先生

討論： （討論者交渉中）

講演 3（労働を中心に）

講演： 岡山商科大学・教授 三谷直紀先生

討論： （討論者交渉中）

パネルディスカッション

コーディネーター： 東洋大学・教授 松原聡先生

2. 特別セッション

今大会においては、「危機の時代の欧州経済」と題する特別セッションを設けて英語で行う。講演者として Oliver Landmann 先生（フライブルク大学）、Mario Mariniello 先生（ベルギー・シンクタンク・ブリュッセル）等を予定している。

3. 自由論題セッション

例年の通り、自由論題セッションとして、学会会員各位の研究の発表を行う。今年度も震災関係およびエネルギー政策についてのセッションを設ける予定であり、積極的に応募されたい。

4. 企画セッション

今大会においては、通例の自由論題セッションと並行して、企画セッションを設ける。企画セッションとは、個人またはグループが、一つのセッション自体を提案し、そこでの発表者・内容を、企画提案者自身がアレンジするもの。そこで発表された論文は、学会誌『経済政策ジャーナル』大会特集論文（査読付き）としての投稿に際しては、自由論題セッションでの発表のものと同等に扱われる。

以上

